

行政改革推進委員会質問対応表

No.	意見区分 (審議会)	意見対応事項			対応 (回答)
		対応 頁	対応 行	意見内容	
1	第1回 審議会 事前質問	資料3 P2	25行	町民の意見をまちづくりに反映させる為に、町政提案箱を活用するとあるが、誰もが目に入る上にあった方がより多くの意見が出ると思う。(現在、ホームページ(スマホ)下)	町ホームページは行政情報の発信・共有の中核となるものでありますが、スマートフォンやタブレットの普及により住民の情報獲得手段が変化していることから、町ホームページの利便性を高め、利用者の視点に立った分かりやすい情報の提供をするため現在リニューアルに向けて取り組んでおります。 引き続き町民からの意見・要望等の把握に努め、町政へ反映させるため、リニューアルの際に、町民提案箱の町ホームページPC版及びスマホ版の効果的な配置やSNS等との連携等について検討してまいります。
2	第1回 審議会 事前質問	資料4 P2	④	自治会の活動状況について、ホームページに随時更新した方が良いと思う。自治会紹介はあるが、現在どういう活動をしているのかを更新する事で、情報提供や情報交換も出来ると思う。	自治会活動については、各字・自治会において情報発信しておりますが、町としても自治会活動を支援するため、活動内容や情報提供等について区長・自治会長のみなさんとも意見交換をしながら、情報発信に努めてまいります。

3	第1回 審議会 事前質問	資料4 P4	①	<p>施設予約をインターネットで予約出来た方が良い。窓口受付対応や住民の来庁負担軽減につながると思う。インターネットで予約した場合、使用料を安くする等もあった方が良い。支払いは、来庁不要でコンビニ、クレジット、口座振替等があると思う。</p>	<p>施設利用に係るオンライン予約やキャッシュレス決済は、自治体DX推進における町民の利便性向上の面で非常に効果的だと考えます。</p> <p>現在町ホームページで野球場の予約や、学校体育施設等の貸出状況の閲覧が可能となっておりますが、その他の施設予約についても貸出情報やオンライン予約等について、町で導入している電子申請システム等の活用を含め調査検討してまいります。</p> <p>また、令和6年度はDX推進計画の策定を計画しており、オンライン予約やキャッシュレス決済の導入についても、本計画策定の中で検討したいと考えます。</p> <p>なお、文化センターの見学料および施設使用料の支払いについては、令和6年4月からキャッシュレス決済の試験導入を実施する予定です。</p>
4	第1回 審議会 事前質問	資料4 P4	③	<p>DXの思考を持った職員の育成に取り組むとあります。デジタルに強い人材を外部より招く予定はありますか（既にデジタルに強い人材を確保していれば必要は無いですが）</p> <p>内部にデジタルに強い人材がいれば、職員のデジタルスキルを短期間で習得可能となり、業務効率化や生産性向上もスピーディーに進める事が出来ると思う。</p>	<p>DX人材の育成について令和5年度は、地域情報化アドバイザー派遣事業（総務省）を活用して外部人材による職員研修会（管理職向け、一般職向け）の実施、県主催のDX人材育成研修（オンライン講座）の受講、職員によるエクセル研修会等を実施し、デジタル人材育成に取り組みました。</p> <p>令和6年度はDX推進計画の策定を計画しており、デジタル人材育成に係る外部人材の活用についても、本計画策定の中で検討したいと考えています。</p>

5	第1回 審議会	資料3 P1	8行 ・ 14行	「組織を横断した対応」「組織のあり方」と記載がありますが、この組織は何を指していますか。	こちらで記載している「組織」とは「行政組織」のことを指しています。
6	第1回 審議会	資料3 P1	9行	「今後見込まれる人口課題への対応」について、新聞記事等で2050年には県の人口は5.2%減るとなっていました。ですが南風原町は2%増える推計となっています。人口課題は全てに関係する問題だと思うのですが、長期的な人口推移のベースがあって今回の資料は作成されているのでしょうか。	人口については、人口ビジョンという計画があり、本町は今後も増加する見込みとなっていますので、人口増に対応するための取組になっています。 しかし、全国的な流れとして、将来は人口減少に転じると推計されていることから、住民サービスを向上して、人口減少に歯止めをかける考えも考慮した計画になっております。
7	第1回 審議会	資料3 P1	24行	基本方針の3つの柱というところで説明があるのですが、「組織力の強化と人材育成」と「健全な行財政経営の推進」の順番を実効性を発揮するために入れ替えたと話があったのですが、3つの柱に順番があるのかを確認させて下さい。 町民から見ると3つとも全部関係することなので、そこに優先順位を付けてしまうと、役場の力の入れようが変わってくるのではないかと誤解を生まないか心配しています。	基本方針の3つの柱に優先順位はなく3つの柱についてどれも大事であります。読み手が行政改革を理解し、効果的に実行に移せるよう計画書の章立てに順番を付しています。前回の行政改革大綱作成時は財政的に非常に厳しく、財政状況の改善が急務であったため「健全な行財政」を2番目にしておりました。 デジタルの推進等も含めさらなる組織力の強化が必要であることから順番を入れ替えておりますが、委員の意見の通りどれも大事な方針になりますので、そこは意図を説明して誤解を生まないようにしていきたいと思っております。

8	第1回 審議会	資料3 P2	7行	「総合計画を推進するため」と記載しておりますが、「第五次南風原町総合計画」と記載されている箇所もあります。統一した方がいいと思います。	「第五次南風原町総合計画」に統一します。
9	第1回 審議会	資料3 P3	3行	推進期間が令和5年度から令和9年度までとなっておりますが、令和5年度ももう後残すところ2か月もないのですが、今後の流れやスケジュール等があれば教えて頂きたいです。	本来であれば、令和4年度で策定する予定でしたが、喫緊の課題であった機構改革で組織の見直しを優先しておこなったため、策定作業が遅れています。しかし、行政改革は間を開けず常に取り組んでいるため、令和5年度からとしております。 また今後のスケジュールについてですが、今後町長へ答申をおこない年度内完了を目指しています。
10	第1回 審議会	資料3 P4	4行	「3つの基本方針と26個の推進項目」と記載がありますが、26個の推進項目とはどれを指しているのでしょうか。	資料4の「第五次南風原町行政改革大綱実施計画（案）」に記載している基本方針ごとの具体的取り組み事項が26個の推進項目になります。
11	第1回 審議会	資料3 P4	(1)	「オープンデータの公開」が挙げられていますが、今後の取り組みとして、町民側からこういう情報も公開してくれと声があるのか、それとも、今公開してるものをアップデートしていくのが前提なのか教えていただけますか。	現在公開しているオープンデータを最新版に更新するとともに、公開するデータを拡充し、住民へオープンデータ活用を促していきたいと考えております。
12	第1回 審議会	資料3 P4	25～ 29行	ちむぐる館で町政提案箱に意見を投函しようとしたが、見当たらず意見ができなかった。また、メールで意見を提出してから何ヶ月たっても返事がこないことがあり、町民が意見をしやすい体制や早めの対応をして欲しい。	町政提案箱については、役場庁舎と各施設（町立中央公民館（地域交流センター）、総合保健福祉防災センター（ちむぐる館）など出先機関）で設置していますが、分かりやすい設置場所の検討や職員及び住民への周知に努めます。また、対応についても遅れがないよう取り組みます。

13	第1回 審議会	資料3 P4	25～ 29行	<p>町へ意見を出すことは、「提案箱」や「まちメール」などで行うことはできますが、それが実際反映されているかどうかの確認ができないと「協働のまちづくり」に自分が参加しているか実感がつかみづらい。意見や要望等について完全に完了してから回答するのではなく、途中段階でもいいので回答できる仕組みを構築してもらいたいです。</p> <p>またLINEからでも意見提案ができるとありますがとても分かりづらい。直接投稿ができずインターネットのメールに行き着く。メールアドレスが不要であったり、もっと意見しやすいようできないか確認してもらいたいです。</p>	<p>個別の質問等であれば、すぐ回答できるのですが、「こんな事業をやって欲しい」等の提案や意見については時間がかかってしまいます。しかしながら、今後もできるだけ早期に対応していきたいと考えてます。</p> <p>また町ホームページやLINEについても、現在更新作業を行っており、来年度にかけて完成する予定であります。今回のご意見も参考にして改善していきたいと思えます。</p>
14	第1回 審議会	資料3 P5	(1)	<p>「行政改革大綱」を推進するのは町の職員であり、推進には職員の意識改革が必要だと考える。職員の意識はどのように高めていこうと考えていますか。</p>	<p>全職員が一斉に変わるというのは難しいですが、職員一人ひとりが意識して行政改革に取り組めるよう、職員の資質を高める研修等により人材育成に努めていきます。</p>
15	第1回 審議会	資料3 P5	25～ 29行	<p>「自治体DXの推進」が今回上げられており、事前質問の回答で「研修会等を実施し、デジタル人材育成に取り組みました」とありますが効果は出ていますか。</p> <p>また研修会の頻度についてはどのぐらいの頻度でおこなっていますか。</p>	<p>まず研修を受けることによって意識が変わります。各職員が自分の業務において見直し、業務改善ができないかと考えるきっかけになっていると感じているところです。</p> <p>目に見えて確認できるものでいうと、現在導入しているのがロゴフォームという電子申請システムです。連絡やアンケート等の集計が一目で確認でき、作業効率が上がっております。</p> <p>研修の頻度については大体月に1回程度は実施できており、その他個人でオンライン研修などを受講している人もいます。</p>

16	第1回 審議会	資料3 P5	25～ 29行	DXの推進に伴いシステム等を導入することで、システム使用料や導入費等が膨大にかかる心配はありませんか。	現状の基幹システムについては、毎年更新しており急に高額になることはありません。そこに新たなシステム等を導入となると費用事態はもちろん発生しますが、費用対効果を考えて必要な経費として予算の範囲内で支出しております。
17	第1回 審議会	資料3 P6	8行	最近の新聞で、西原町に企業から寄附が多く寄せられていると読んだのですが、南風原町と何か違い等がありますでしょうか。	新聞にあった西原町の企業からの寄附というのは、「企業版ふるさと納税」のことで、町においても今年度、国から承認をもらい受入れ体制を整えております。この「企業版ふるさと納税」を含めて8行目にある「ふるさと納税制度」の積極的な活用になります。
18	第1回 審議会	資料3 P6	8行	ふるさと納税制度の積極的な活用とありますが、南風原町の返礼品についてはどのようなものがありますか。	南風原町の主な返礼品は、オリオンビール、マンゴー、キビまる豚、卵、泡盛（瑞泉）、沖縄そばや餅となっております。 返礼品は基本的に地場産品でなくてはなりません、「オリオンビール」と「沖縄そば」については沖縄県全体の返礼品となっているため、どの市町村でも取り扱うことが可能です。ちなみに南風原町の返礼品で一番でているのは、オリオンビールになります。
19	第1回 審議会	資料3 P6	35行	PPP・PFIの県内での取り組み状況について、把握しているものをいくつか教えて頂けないでしょうか。	沖縄市のバスケットの試合をおこなう体育館においては、一部民間が入り、隣にホテルを作ったり駐車場を利活用したりしているようです。 南風原町においても民間のノウハウや資金を使い、経費を抑えて効果を上げられるような事業がないか全庁的に模索している段階です。

20	第1回 審議会	資料3 P6	(3)、 (4)	(3) 民間活力の活用と(4) 公有財産等の適正管理についてどちらも同じような内容ですが、(3)は事務事業の内容で、(4)は新たな施設等についての内容になるとの判断でしょうか。	(3)については事務事業のことで業務の必要性や効率性を精査し、民間活力の活用により質の高い行政サービスの提供が可能か検討します。また指定管理者制度についても推進に取り組んでいきます。 (4)については公有財産についての内容になります。新たな施設建設を始め、既存の公共施設等の適正管理による長寿命化を図り、トータルコストの縮減や財政負担の平準化に努めます。また未利用財産についても積極的な活用を検討します。
21	第1回 審議会	資料4 P5	②	「町税等の適正課税の推進」とありますが、徴収について南風原町はどのようになっていますか。負担の公平性もあるので徴収部分も重要になってくると思うのですがいかがでしょうか。	町税の徴収率についてですが、町民の納税意識が高く南風原町は令和2～4年度にかけて沖縄県で一位となっています。この徴収率も継続した上で適正課税をおこなって行く予定です。
22	第2回 審議会	資料3 P3	7～17 行	策定後、目標を達成するために今後どのように進めていくか教えてください。	大綱に基づく具体的な取組を計画的に実施するため、実施計画に基づき進めます。また、行政改革推進委員会で年度ごとに効果検証を行います。
23	第2回 審議会	資料3 P5	2～3 行	第四次行政改革大綱の基本方針3(2)職員の能力と資質向上に記載されていた南風原町職員人材育成方針の文言が、第五次行政改革大綱の基本方針2組織力の強化と人材育成では記載されていないのはなぜでしょうか。	第五次行政改革大綱の基本方針2組織力の強化と人材育成については、南風原町職員人材育成方針を包含しているため記載しておりませんでした。文言を追記し、大綱P5基本方針2本文は「多様化、複雑化する諸課題に的確に対応するため、 <u>南風原町人材育成方針に基づき</u> …」とします。

24	第2回 審議会	資料3 P5	25～ 29行	デジタルに特化した人材の採用を行う予定はありますか。	現時点では、デジタルに特化した人材の採用等はありませんが、今後は日々変化する社会情勢に伴う各種課題に対応するため検討してまいります。
25	第2回 審議会	資料4 P5	③	南風原町のふるさと納税寄附金の現状を教えてください。	ふるさと納税の寄附金は令和4年度まで伸びておりましたが、令和5年度からの一部制度改正により寄附金の伸びが止まっている状況です。今後もふるさと納税額の更なる向上に努めてまいります。